

図書館だより

2014 1月



あけましておめでとうございます
旧年中はたくさんのご利用ありがとうございました。
本年も、皆さまのお役にたてるよう
職員一同努力してまいります。
2014年もよろしく願いいたします。



今月の行事

- ◆ 芭蕉と一茶 15日(水曜日) 午前9時半～ 2階 講習室にて
- ◇ おはなしの会 毎週土曜日 午前11時～ えほんコーナーにて

展示

すざか子ども読書ちゃれんじ

子どもたちが、本を読んでコメントカードにコメントを書くとポイントがたまり、本の数で名人級・達人級・殿堂級と級が上がっていく『子ども読書ちゃれんじ』。今年度もたくさんコメントカードを書いてもらいました。そこで、子どもたちの書いたコメントや絵などを、それぞれの本の帯にして展示いたします。

貸出もしていますので、子どもたちが書いた感想とともにぜひご覧ください。



足元にお気を付け下さい!

積雪・凍結により、駐車場内や図書館前がたいへん滑りやすくなっております。足元に注意し、お気を付けておこください。



—おとなのための 語りを楽しむ会—

方言で語る 日本の昔ばなし

日時: 2月16日(日)
午前11時～12時

参加無料
申込不要

場所: 市立須坂図書館 2階 講習室

語り: 増田 久子 氏

内容: 1. 三水地方の方言で語る昔ばなし

- (1) 尻をするお嫁さん(「信濃の民話」より)
- (2) ちょうふく山のやまんば
(「日本の昔話」より)

(3) ほらふき長吉 (「日本の昔話」より)

2. 宮沢賢治を語る

- (1) 虔十公園林(「宮沢賢治全集4」ほか)
- (2) 雨ニモ負ケズ(「雨ニモマケズ」ほか)

⇒雪の中囲炉裏を囲んで聞くような気分で、郷土の言葉で紡がれる昔話を聞いてみませんか? 大人が楽しむ語りの会です。ぜひお誘いあわせの上お出かけください。

一般向け新刊案内1月

小説

漁師の愛人 [森絵都] 漁師になった長尾が属する海辺のコミュニティは「愛人」を拒み続ける。採譜の仕事をしてながら彼と暮らす紗江はそのままにかまわないと思っていたのだが…。表題作ほか5編。(文藝春秋)	その鏡は嘘をつく [薬丸岳] エリート医師が鏡に囲まれた部屋で自殺した。その後、医学部受験を控えた青年が失踪。検事の志藤は独自に捜査を進める。その頃、東池袋署の刑事・夏目は小さな手がかりを見つめていた―。(文藝春秋)	
Qrosの女 [菅田哲也] 芸能記者の矢口はCMで話題沸騰中の美女「Qrosの女」の正体を探るが、核心に迫る情報を得られない。ようやくCMで彼女と共演した俳優のネタを仕入れたので、俳優の自宅を張り込むと…。(講談社)	向かい風で飛べ! [乾ルカ] 完全アウェーの転校生、さつき。しかしスキージャンプの天才美少女、理子との出会いが、孤独で憂鬱な日々を塗り変えていく…。わくわく、ハラハラ、うるうる。全部が詰まった青春小説。(中央公論新社)	
《書名》	《著者名》	《出版社》
ポーズケ	津村記久子	中央公論新社
感受体のおどり 350番	黒田夏子	文藝春秋
火男	吉来駿作	朝日新聞出版
鴨川食堂	柏井壽	小学館
虹、つどうべし	玉岡かおる	幻冬舎

その他

《書名》	《著者名》	《ジャンル》
生物の大きさはどのようにして決まるのか	大島靖美	生物学
玄人ですもの 室井滋のオシゴト探検	室井滋	伝記
2020年新聞は生き残れるか	長谷川幸洋	新聞
魔法の手作り生活	成瀬瞳	家政
そだてば	鈴木のりたけ	育児
宇宙が始まる前には何があったか?	ローレンス・クラウス	天文学

こんな読書術!

『文系のための理系読書術』 生物と進化のフロンティア、科学者のひらめき…。著者の実際の読書体験をベースに、難解ではなく読んで面白い、数式が苦手でも楽しめる科学の本を紹介する。(齋藤孝著)	『読書能』 ぼくの深読み 300冊の記録 人文・社会・科学など関心領域の幅広い著者による、幅広い読書の記録と紹介。読書の過去・現在・未来について対談も収録。(立花隆著)
---	---

貸出し中の場合は予約ができます

* 予約多数の場合、お時間がかかりますのでご了承ください。